

成田市ペーパーレス宣言

新たな時代の変化に対応し、持続可能な社会を実現させるためには、紙文化からの脱却は必要不可欠です。成田市は、紙の使用量を減らすことを目指すだけでなく、ペーパーレス化の先にあるデジタル技術を活用した行政運営の効率化や市民サービスの向上、働き方の革新や業務プロセスの改善などの取り組みをより効果的に推し進めるため、市を挙げてペーパーレスを推進することを宣言します。



令和 6 年 3 月 27 日

成田市長

小泉一成

成田市ペーパーレススローガン

紙を「出さない、持たない、欲しがらない」

令和 6 年度数値目標

令和 5 年度比 印刷枚数 30%削減

【出さない】

内部会議や打ち合わせのペーパーレス化により紙資料の配布を減らすほか、文書等の電子決裁やオンライン申請を拡大していくことで、紙の使用量の抑制を図ります。

【持たない】

印刷しないためにどうするべきかを考え、やむを得ず印刷する場合でも、できるだけ枚数が少なくなるよう努力します。また、既存の紙資料について整理し、所属・個人それぞれのペーパーストックレスに取り組みます。

【欲しがらない】

会議や打ち合わせがペーパーレスで実施できる環境下において、紙資料を求めないこととします。また、事業者に対しても、無理に紙での提出を求めることはせず、可能な限りデータで対応することとします。

重点取り組み項目

- | | |
|------------------|-----------------------|
| ・内部会議のペーパーレス化 | ・会議室へのモニター設置 |
| ・電子決裁、オンライン申請の拡大 | ・印刷しない習慣作り |
| ・ペーパーストックレスの取り組み | ・フリーアドレス制パイロットオフィスの整備 |